

東燃ゼネラル石油株式会社

2009年12月期 第1四半期決算概要

2009年5月15日



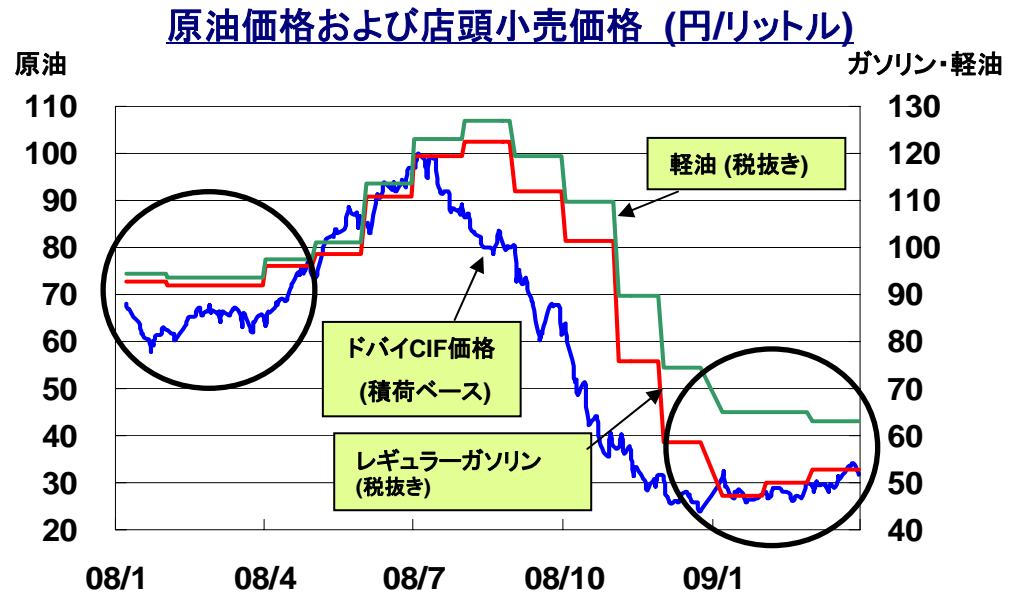
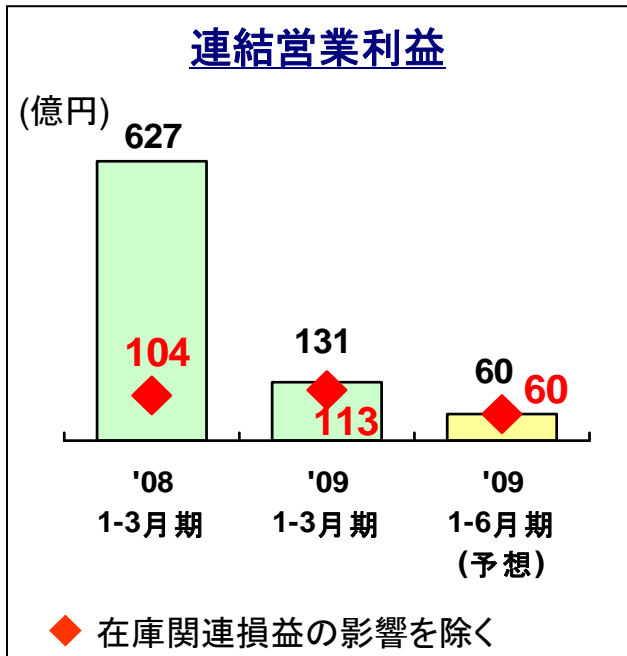
見通しに関する注意事項

この資料に記載されている当社および当社グループ各社の現在の計画、見通しに関する事項は、日本および世界経済の動向、原油価格、円ドルの為替レート、需給の変動に大きく左右される業界の競争状況などにより影響を受けます。これらの影響により、実際の業績は本資料で記載した見通しとは大きく異なる可能性があることにご留意ください。

業績ハイライト



- 2009年1-3月期の営業利益は、在庫関連損益の影響を除き前年同期比若干の改善
 - ▶ 1-2月に石油部門における当社グロスマージンが改善
 - ▶ 前年同期の営業利益には南西石油(株)売却に伴う在庫関連利益が含まれる
 - ▶ 石油化学部門利益は前年同期より減少
 - 2008年10-12月期以降、石油化学部門の部門損益は赤字
 - ▶ 前年同期に計上された多額の在庫関連利益は当期においては軽微
- 業績および配当の見通しは変更せず



<プラッツ、石油情報センター等のデータに基づく>

損益計算書 [1-3月期、連結]



(億円)	'08 1-3月期	'09 1-3月期	増減
売上高	8,775	4,842	-3,932
営業利益	627	131	-497
経常利益	688	127	-561
特別損益	-1	-7	-6
当期純利益	406	77	-330
在庫関連利益の調整	-523	-18	505
調整後営業利益	104	113	8
石油部門 他	11	135	124
石油化学部門	93	-23	-116
<参考>石油部門に含まれる原油コストの 認識時点の違いによる影響	15	-90	

原油コストの認識時点の違いによる影響額の算出方法



原油価格を会計上の原価として認識するタイミングは、業界他社が日本に到着した時点であるのに対し、当社は購入した時点（通常、積荷時点）。従って、当社は原油価格の変動を業界他社より早く認識する。

■ 従来の算出方法

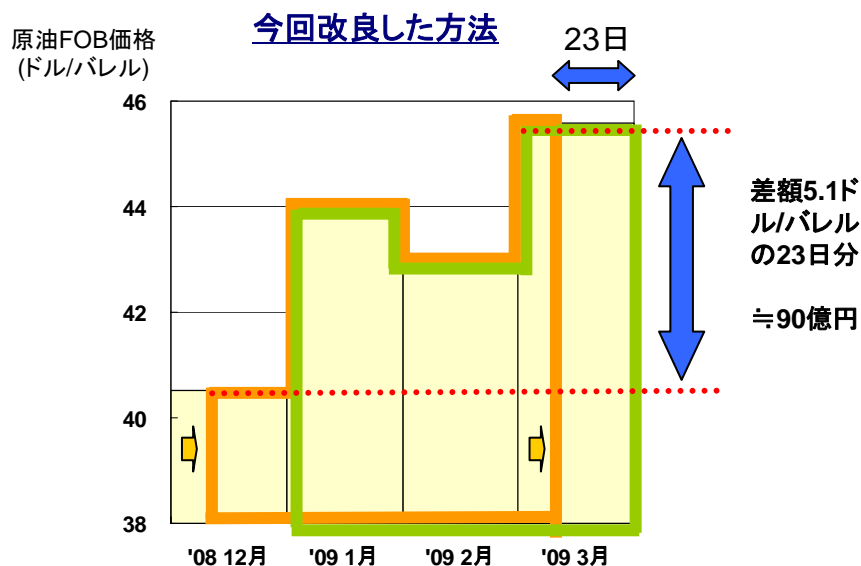
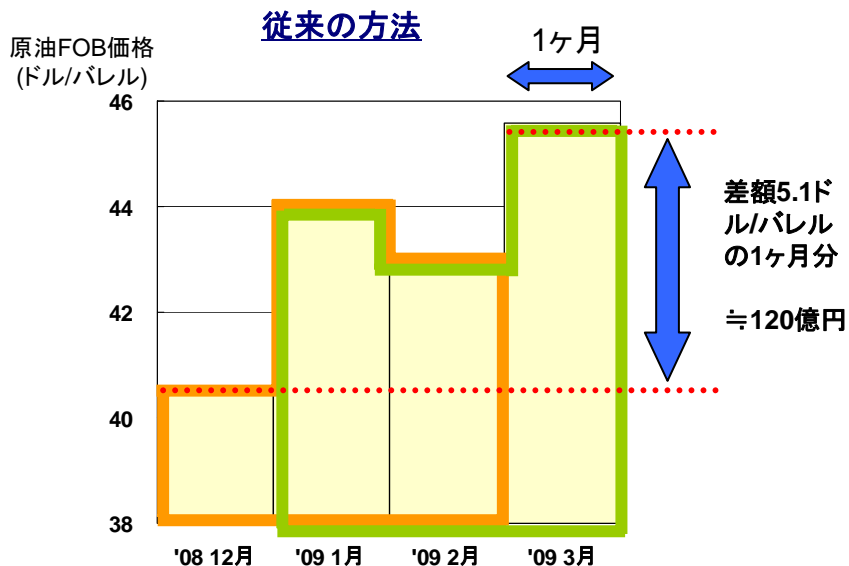
- » コスト認識時点の差を簡便法を用いて1ヶ月と仮定し、影響額を算出。

期間	影響額(億円)
'08 1-3月期	20
'08 10-12月期	960
'09 1-3月期	-120

■ 今回改良した算出方法

- » 積荷から日本に到着するまでの実際の日数を反映させて算出。コスト認識時点の差は1ヶ月より短い。('09 1-3月期実績は平均約23日)

期間	影響額(億円)
'08 1-3月期	15
'08 10-12月期	700
'09 1-3月期	-90



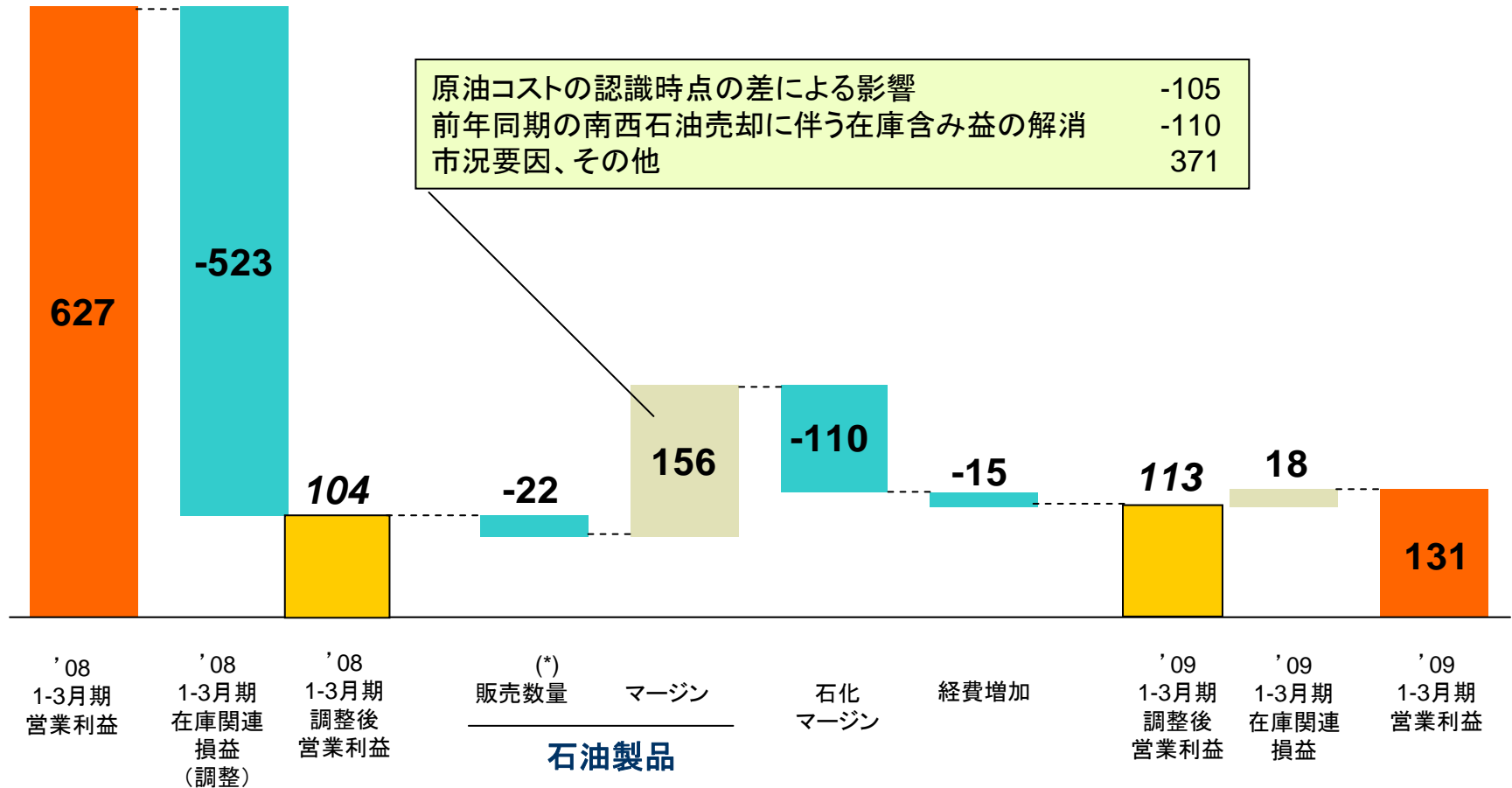
: 到着時点で認識する場合の原油コスト

: 積荷時点で認識する場合の原油コスト

営業利益増減の要因分析

[1-3月期連結業績、前年同期比]

(億円)



* 主要製品を基準とする (6ページ参照)

販売数量/稼働率



- 国内燃料油需要の減退に伴い、主要燃料油の国内販売数量が前年同期比で減少
- 中間留分(ジェット燃料、軽油、A重油)の輸出は前年同期比で22%の増加
- 石油化学製品の国内需要低迷を反映して、特にオレフィン類は前年同期比減少が顕著

石油製品*		'08年1-3月期	'09年1-3月期	増減	国内全体 増減****
(千KL)					
日本国内での販売	ガソリン	2,512	2,652	+5.5%	+1.2%
	灯油	1,155	1,046	-9.4%	-7.7%
	軽油	778	758	-2.6%	-6.1%
	A重油	754	594	-21.3%	-19.3%
	C重油	461	334	-27.7%	-26.1%
	主要5油種合計	5,661	5,383	-4.9%	-9.3%
	LPGその他	756	646	-14.6%	
	小計	6,417	6,029	-6.0%	
	輸出**	1,285	1,343	+4.5%	
	その他***	1,462	871	-40.4%	
石油製品合計	9,164	8,243	-10.1%		

注記:
 * 連結ベース、バーターを除く
 ** 保税販売を除く
 *** 潤滑油、原油、国内のエクソンモービルグループ内の転送取引などを含む
 **** 出典: 経済産業省「資源エネルギー統計」

石油化学製品		(連結ベース)			
(千トン)					
	オレフィン類他(東燃化学分)	475	371	-21.9%	
	芳香族類他(東燃ゼネラル石油分)	230	213	-7.5%	
	石油化学製品合計	705	584	-17.2%	

設備稼働率(常圧蒸留装置ベース) 82% 79% 81%****

業績予想 [連結]



- 2月に発表した2009年の業績予想は変更なし
- ただし、業績予想は以下を含む諸要因の影響を受ける
 - » 国内外の経済動向および石油および石油化学製品の需給バランス
 - » 原油価格の動向
 - » 在庫水準と在庫関連損益

(億円)	実績		業績予想 (2月発表)	
	'09年1-3月期	'09年1-6月期	'09年1-6月期	'09年通期
売上高	4,842	11,500		23,000
営業利益	131	60		150
経常利益	127	60		160
特別損益	-7	0		-20
当期純利益	77	40		90
在庫関連利益の調整	-18	0		0
調整後営業利益	113	60		150
石油部門 他	135	50		100
石油化学部門	-23	10		50

補足資料

キャッシュ・フロー、借入、資本 [連結]



(億円)

営業活動 / 投資活動

'09年1-3月期

-107

税引前当期純利益	121
設備投資額 / 減価償却費	23
たな卸資産	-66
売掛金/買掛金/未払揮発油税等	233
法人税等の支払額	-401
その他	-16

財務活動

106

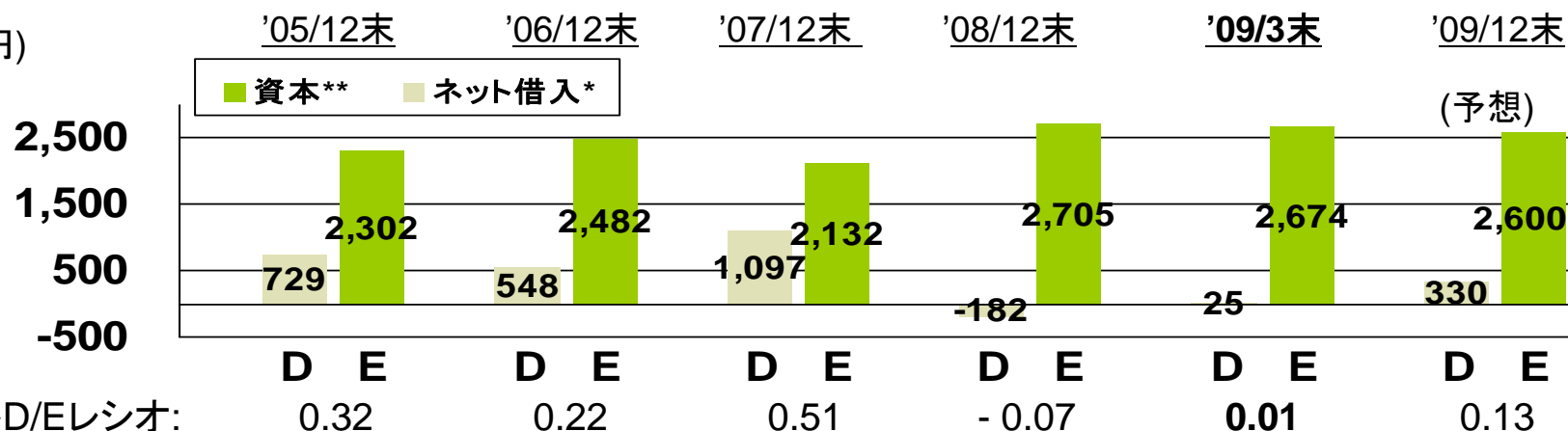
借入金 of 増(減)	207
配当金の支払額	-100
その他	-1

現預金の増減

0

- 2008年度の高収益に伴い法人税等の支払額が増加したため、2009年3月末のネット借入は増加
- 健全な財務状態を維持
- 2月に発表した2009年末のネットD/Eレシオの予想13%は変更なし

(億円)



ネットD/Eレシオ:

* 現預金・貸付金等の影響を除いた借入金

** 少数株主持分を除く純資本